

## 【コンテストについて】

### 1) コンテストについて

#### 【日程・会場】

- ・10月8日（土） 〈勾当台公園会場〉  
全チーム 演舞→上位3チーム及び入賞7チーム発表
- ・10月9日（日） 〈市民広場会場〉  
表彰、大賞演舞

※今回は予選や復活ステージ等はありません。

#### 【組み合わせ】

例年、ブロック制を採用していましたが、今回は実施いたしません。  
また、演舞順もランダムに組んでおりますのでご了承ください。

#### 【審査員】

共催、後援、協力団体及び協賛各社から当委員会が選出し、審査する予定です。

### 2) 審査方法

- ・演舞のルールは、p4「演舞のルール」に準じます。
- ・審査員1人につき、30点満点で採点し、合計得点で順位を決めます。
- ・審査基準については 後述の審査基準をご参照ください。

### 3) 各賞基準について

〈みちのく YOSAKOI 大賞〉

審査において総合得点で最多得点を獲得したチーム

〈宮城県知事賞〉

審査において総合得点を2番目に多く獲得したチーム

〈仙台市長賞〉

審査において総合得点を3番目に多く獲得したチーム

〈雅賞、葵賞、奏賞、灯賞、暁賞、煌賞、麗賞〉

審査において総合得点の順位が4番目~10番目のチーム



## 7) 審査基準

みちのく YOSAKOI まつりの求めるチーム像を明確化し、審査基準をわかりやすくいたしました。

### 【審査・採点方法について】

#### ◇審査基準

分類	審査項目		配点
みち YOSA 点	YOSAKOI ならではの魅力があり、地域や伝統への想いが伝わってきたか	鳴子、民謡、地域性	10 点
技術・芸術点	踊りの技術や創造性は魅力的であったか	振付、衣装、音楽、隊列、構成	10 点
感動点	感動し、また観たいと思ったか		10 点

審査のポイント：

- ・ 演舞のルールである「鳴子」「民謡の一部」が演舞に上手く取り入れられているか。
- ・ 動作・鳴子の音・表情・所作などに静と動のメリハリがあり、楽曲に合った効果的な演舞構成であったか

#### ◇採点方法

- ・ 各審査員が各チームに 30 点満点の得点をつける。
- ・ 各審査員がつけた点数を合計し、各チームの得点を算出する。
- ・ 得点が高い順に 1 位、2 位、3 位、……とする。

※上位 10 チーム以内で同点となった場合、審査員の協議によって順位を決定する。

## 【演舞のルール（抜粋）】

### ■演舞では「鳴子」を奏でて踊ってください。

◎鳴子あつての「YOSAKOI 踊り」です。鳴子の刻むリズムが踊り手だけでなく、観客の心をも煽るのです。手踊りや小道具等の使用は「部分的な演出」としてのみ認めます。

### ■楽曲に「民謡」の一部を組み入れてください。

◎東北の民謡、または各チームのふるさとの民謡・音頭を必ず楽曲に組み入れてください。

◎著作権の使用手続きが必要な楽曲については、各チームの責任で手続きを行ってください。

### ■演舞時間は、「4分30秒以内」とします。

◎演舞時間は、「会場司会による合図→口上・演舞→演舞終了→礼」までの時間とします。ステージ入場が演舞構成の一部である場合は、これも演舞時間に含まれます。  
※板付きなどの準備の時間は、演舞時間に含まれません。

### ■参加人数は、1チーム「50人以下」とします。

◎新型コロナウイルス感染症対策として、「1チーム50人以下」とさせていただきます。

◎口上役や旗士（旗振り役）・踊り手等、ステージに登壇する人すべてを含みます。

※長町会場〔あすと長町杜の広場公園〕の場合、「51人以上」のチームでも参加可能とします。ステージサイズの基本は「幅30m×奥行20m」ですが、人数に合わせて広くとって踊っていただきます。お問い合わせください。

※10人未満の場合は、お問い合わせください。